

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年 3月24日
札幌市立大谷地小学校

1 本年度の教育目標

「あたたかい学校」
 ～ あったか大谷地 ～

・まなびづくり ・こころづくり ・からだづくり

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
全般	「あたたかい学校」や目指す子どもの姿を共有して、教育活動を展開しましたか	A	教職員は、目指す学校の姿や子どもの姿を共有して、教育活動を展開することができた。今後も、継続していきたい。	A	A
	子どもは合言葉を意識していましたか	A	子どもの行動目標としての合言葉を今年度より「あったか大谷地」とした。委員会活動などで、子どもたちからも「あったか大谷地」の言葉が聞かれるなど浸透している。	A	A
	校種間連携が推進されたと思いますか	B	小中一貫が定着し、6年生の中学校施設見学や教員同士の交流を行った。また、幼保小の連携で、新1年生との交流も行っている。さらに連携を深め、内容を公開していきたい。	A	A
	校務分掌見直しは適切でしたか	A	今後も、必要に応じて見直しを図っていく。	A	A
	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「あたたかい学校」の実現に向けて取り組んでいる様子が見られた。 ・幼保小の連携が教職員に及んだことで更に前進した。 ・小中一貫の取組は具体的な活動ができることを期待したい。 ・PTAとも連携して交通安全指導に取り組んでほしい。 			
学ぶ喜びを共有する姿	子どもは、教科の学習で「分かった」「できた」「活躍した」「もっとやりたい」など、自信と意欲を高めましたか	A	研修や授業作りを通して日々授業改善に取り組んでいる。今後も、子どもの自信と意欲が高まるような学習指導のあり方を検討していく。	A	A
	子どもは、家庭学習を意欲的に継続できましたか	B	教師の思いと子ども・保護者の思いが異なってきた。今後は、家庭との連携を図り、家庭での学習を充実させたい。	B	A
	子どもは読書に親しんでいましたか	B	PTA 図書ボランティアの協力を得ながら、本に親しむ活動をした。保護者からの評価は低い傾向にある。家庭での読書にもつながるように引き続き啓発的な活動を続けたい。	B	A
	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での学習については、児童と保護者の意識の差を埋められるよう工夫を続けてほしい。 ・学年に関わらず、個々に合わせて「やらなくてはいけない」ものを示してほしい。 ・家庭学習、読書は、家庭との共有が必要だと感じる。 ・本の展示や職員のお勧めの本などの紹介は、読書に興味をひくきっかけになると思う。環境が充実してきている。 			

思いやりと自己肯定感	子どもは(挨拶を含む)あったか言葉を使っていると思いますか	A	継続して指導を行うことにより、あったか言葉やあいさつが定着してきた。今後も、継続していく。	A	A
	子どもは、自分の思いを生かした活動ができましたか	A	ほとんどの子どもが自分の思いを生かした活動ができていると感じている。今後も継続して指導をしていく。	A	A
	子どもは、行事の取り組みで感動を共有できましたか	A	お互いを見合う場の確保や、メッセージカードなどで互いに励ましあい感動を共有することができた。	A	A
	子どもは、道徳の時間に内容項目について語り合い、自問しましたか	A	教科としての道徳の学習を通して、それぞれの内容項目について考えることができた。	A	A
	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自信や肯定感をもてることは今後の成長にもつながると思う。子どもたちの心の安定が増えていると思う。 ・保護者も一緒にあいさつ運動の定着が進むことを期待したい。 			
心身の健康・運動に関心をもつ	子どもは、感染予防・けが防止などを意識して行動できましたか	A	子どもは、感染予防やけがの防止などを意識し、日々の学校生活を送ることができている。	A	A
	運動の苦手な子どもも楽しく運動していましたか	A	どの子どもも運動の楽しさを感じられ、進んで体を動かせるような取組を行った。	A	A
	休み時間等に運動遊びをしたくなる指導をしましたか	A	外遊びを推奨し、教師が子どもと一緒に遊ぶことで意欲を高めた。今後も継続していく。	A	A
	自分の体も友達の家も大切にしようとする態度(心)が育まれましたか	A	養護教諭と連携し「命と体と心」に関する指導を実施し、成果が出ている。	A	A
	食に対する子どもの意識が高まりましたか	A	栄養教諭と連携し食指導を行い、望ましい食習慣を身に付けられるようになってきた。	A	A
	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館に掲示やポスターなど、運動に関心を引くようなものがあって良い。 ・先生達が、グラウンドなどで児童と一緒に遊ぶ姿がよく見られる。 ・現在の取組を持続して、体力・持続力を付けてほしい。 			
信頼される学校	一人一人の子どもに寄り添った指導ができましたか	A	シャボテンログ、SOSシート、悩みやいじめに関するアンケートなどで子どもと話す時間を確保した。	B	A
	必要な説明責任を果たしたり、学校の取組を発信したりできましたか	A	各種お便りや学校ホームページ、すぐーでのメール配信等を通して、学校の取組を発信することができた。	A	B
	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べ、デジタル機器を使って手厚く対応していると感じる。 ・今後も情報発信を続けてほしい。地域にも「すぐー」配信をすると、タイムリーな情報共有ができそう。HPなど学校の発信を気に掛けるようにしたい。 ・保護者が学校に来る機会を増やし、実際の児童の様子を見ることも大切。 			
いじめ	いじめの未然防止、深刻化を防ぐための指導や対応ができましたか	B	いじめ防止委員会を中心に、組織的な対応ができるよう取り組んできた。今後も継続して取り組んでいく。	B	A
	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・シャボテンログやSSW、いじめ防止委員会等を活用していると感じる。 ・高学年になると面談などが面倒だと、問題無いように答えることも考えられる。今後も根気よく取り組んでいただきたい。 ・スマホ等の機器の扱いをどのようにするといいか家庭と共有してほしい。 			
自分	学校運営に自分のアイデアを生かしながら、協働することができましたか	A	保護者や地域の方からの声を生かしながら、学校の教育課程を編成することができた。今後も継続して行っていきたい。	A	A
	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べ、学校内が落ち着いているように思う。 ・委員会活動で児童に責任感が出た。運動会の手伝いでも活躍の場があるとよい。 ・今後は、地域を巻き込んだ取組をしていただければと思う。 			